

## 国家公務員制度担当大臣と公務員労働組合連絡会とのやりとり（概要）

日 時 令和6年2月20日（火）17:10 ～ 17:20  
場 所 合同庁舎8号館 共用会議室  
出席者 先方）武藤議長 ほか8名  
当方）河野国家公務員制度担当大臣 ほか2名  
案 件 春闘期要求書の受取

### 公務員連絡会

昨年の連合春闘の結果は、平均で定昇込み3.58%となり、30年ぶりともされる水準の賃金引上げとなった。本年の春闘において、各単組・構成組織は、軒並み、過去最高あるいは昨年を大きく上回る賃金要求を掲げ、現在、集中的な交渉に取り組んでいるところ。

一方で、先ごろ厚生労働省が公表した実質賃金は、2年連続減少となる前年比マイナス2.5%、2020年を100とすると97.1ポイントとなり、比較可能な1990年以降で最も低かった。

政府におかれては、国民の生活向上と経済の好循環につなげるためにも、30万人に及ぶ国家公務員の積極的な賃金引上げが重要であるとの認識を持ってご対応いただくよう冒頭お願いしておく。

また、本日大臣にお願いしておきたいのは、国家公務員における要員不足の問題である。言うまでもなく職員は、通常の職務はもちろんのこと、昨年までのパンデミックのような状況、あるいは年初の能登半島地震のような大規模災害があれば、最前線で国民の生活と安全を守り、復旧・復興に向けて尽力しなければならない使命を有している。

しかし、定員合理化目標のもと、これらに十全に対応することが困難になりつつあり、あるいは長時間労働の大きな要因ともなっているのが実態である。このことは各府省の人事当局からも訴えられており、私どもが昨年秋に実施した国家公務員の生活実態調査でも、半数を超える職員から、職場の要員不足に対する不満の声が挙がっているのが現状である。

大臣が尽力されているとおり、デジタル化を進め、省力化・効率化を一層図っていくことは大変重要であると認識している。一方で、災害大国・日本においては、平時より余裕を持った人員を確保し、どのような状況にも対応できる体制を構築しておくことがとりわけ重要だと認識しているところ。大臣におかれては、その点是非ともご認識いただくようお願いしておく。

最後に、これから、事務レベルでの交渉を積み重ね、3月22日の最終回答の際には、河野大臣から、直接、春の段階の誠意ある回答を求め、要求提出にあたっての発言とする。

### 国家公務員制度担当大臣

まず、職員の皆様が国民全体のために献身的に職務に当たられていることに対し、敬意を表する。

ただ今、要求書を受け取り、要旨は承った。要求事項については、検討の上、しかるべき時期に回答させていただく。

優秀な人材の確保のために長時間労働を是正し、国家公務員の働き方改革を実現するため、様々な取組を進めている。

引き続き、現場の実情を含め、皆様からのご提案をいただきながら、前に進めるのでご協力をお願いしたい。

**公務員連絡会**

よろしくお願ひする。

－ 以 上 －

文責：内閣官房内閣人事局（先方の発言については未確認）